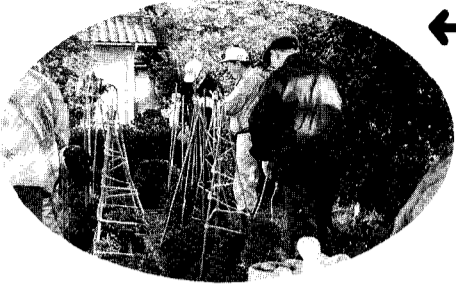


いっしょに作業です!! 作業奉仕に感謝申し上げます

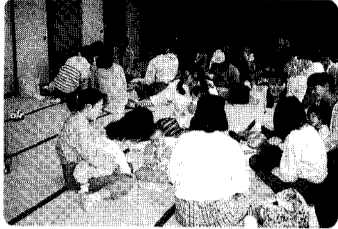
★ライオンズクラブの皆さんより、毎月第二土曜日に中央公民館脇の花木園を中心に庭園の整備作業にご奉仕をいただいております。

「花と緑の小須戸町」のイメージアップにつながることでしよう。ありがとうございます。



★毎年、天理教の皆さんから、役場、中央公民館の周辺の草取り作業にご協力をいただいております。

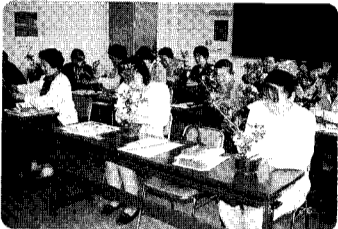
5月の ナイスショット



12日 乳児家庭教育学級「つくしんぼ」みなさんよろしくお願ひします。



13日 親子チャレンジ教室
今月はさつまいも・枝豆等の畑づくりに挑戦!



26日 花いっぱい教室
ナツキの手入れの勉強。枝に針金をまいてるところです。

分館催し物案内

小須戸分館

小須戸分館ソフトボール大会
期日 七月九日(日)
午前八時二十分から午後四時まで
(雨天の場合は、十六日(日)に延期します。)

催し物案内

小須戸町連合婦人会総会
日時 六月十八日(日)
午後一時より
会場 中央公民館三階ホール
内容 総会・チャリティショー
皆様多数の御来場をお待ちしております。

生きがい講座

「アジア諸国を巡って」
(インド編)
日時 六月二十七日(火)
午後一時二十分から三時
会場 老人福祉センター
講師 間野道英さん
(正福寺住職)

第十七回民謡節発表会

日時 六月二十五日(日)
午前十時三十分開演
会場 ふれあい会館
入場無料

七月のおもしろ雑学講座

演題 「郵便局の昔話」
日時 七月十四日(金)
午後七時二十分から九時
会場 中央公民館二階会議室
お話し 井上敬吾さん
(小須戸郵便局長)



「第四級アマチュア無線技士養成講座」

小須戸町無線クラブ主催、第四級アマチュア無線技士養成講座講習会は、二月二十一日の試験をもって全課程を終了、この度受講者全員に信越電気通信監理局から無線従事者免許証が届けられました。(五十名合格)

定期的開催している講習会

ですが、郵政省認定講習会を地元クラブで実施していることがうかがえるようで、毎回多数の申込みがあります。また、二十代の参加者も多く、講習会を通じてクラブ員との交流など、たいへん有意義な講習会となりました。



アマチュア無線技士講習会受講者のみなさん

各入部ツ大会結果

第十回つきまらソン大会

真正正銘の五月晴れに恵まれ他に例のない小須戸種目「親子マラソン」をスタートに大会の火蓋が切って落とされました。町外からの多数の参加者を受け、総員七十八名がそれぞれ完走を果たしました。

入賞者は次のとおりです。

- ★親子マラソンの部 (3km) (敬称略)
 - 一位 渡辺拓朗・直昭 組 13分26秒(新潟市)
 - 二位 本望達也・剛 組 16分00秒(新保三)
 - 三位 森田裕也・稔 組 16分19秒(亀田町三)

★小学生男子の部 (3km)

- 一位 岡田 悠12分55秒(新潟市)
- 二位 沢村 充13分12秒(矢代田二)
- 三位 齊藤智矢13分13秒(新潟市)

★小学生女子の部 (3km)

- 一位 齊藤 幸13分39秒(ウデコキ)
- 二位 大野綾子14分20秒(松ヶ丘)
- 三位 樋口洋子14分53秒(矢代田三)

小須戸町拓本研究會

文化祭の初日に「石ぶみ」を持ち込んで展示会場で実技を始めて数年。拓本というものが年ごとに理解されて関心も高まってきた様に感じられる。しかし、実際に採拓している現場に足を止める人は少なく、ことに自分で拓本を始めようとする人は希です。もっと多くの人が、採拓の手順を身につけて、楽しんで頂きたいと思っております。先人の文化遺産を拓本にして我が家にも残しておくために、「拓本をやる」と歴史が見えてくる「から面白い」。

歴史上の人物や先人の真筆を刻んだ碑を拓本にして眺め、作品の出来具合をあれこれ検討するのも向上であり楽しいものです。

拓本は外での作業であり、二枚一枚と採拓しても出来映えは全部違います。墨の濃淡・気温や湿度など色々の自然現象の変化に大きく左右されるからです。



アルミ缶選別のお願ひ

アルミ缶回収について、皆さんから協力をいただき感謝申し上げます。つきましては、袋の中にスチール缶が混じっているが目立ちますので、再度点検の上ご持参くださるようお願い申し上げます。

公民館報をお読みになつての意見

「これは言いたい」その他なんでも皆さんからの投稿をお待ちしています。ご連絡下されば、担当がお伺いいたします。ご投稿いただいた方には粗品を用意しております。小須戸町若葉町一 小須戸町中央公民館 館報編集事務局まで

文芸欄

柳 補聴器を嫁がやさしい声で呼ぶ 渡辺信子
耳打ちを聞き返してゐる高い声 小見キン
十三回忌妻の声音に母想う 太田たけし
美しい声と顔とが一致せず 高橋ただし

歌 萬蒲湯に浸るひととき過ぎし日の切れぎれ浮 かぶ七父のことも 長井利恵子
金盞花をだてし姑を偲びつつ露けし花を仏前に供ふ 本多玲子
さつき展の会場に立ちどりの花に惑ひつ 一鉢を賣う 河内ヒロ
月に一度診察日なりバスの窓に移ろう景みる 旅人のごとく 大森美恵子

俳句 余震まだ悔りがたし蝶の昼 藤井 春
背の子の欠伸してゐる春日傘 牧野信雄
車椅子足りたる顔の青葉光 山崎しづ枝
母の日に園児手作り指輪はめ 中野とし子
さらさらと細き流れの芹を摘む 小林富沙子
只今はたけの子まつり麓の湯 丸山虚秋
納骨に行く先々のチュートリップ 五十嵐香月
仏塔の建つ地固めや黄水仙 間野良遊

川柳 補聴器を嫁がやさしい声で呼ぶ 渡辺信子
耳打ちを聞き返してゐる高い声 小見キン
十三回忌妻の声音に母想う 太田たけし
美しい声と顔とが一致せず 高橋ただし